



# 鹿屋市立田崎中学校 田崎中だより

校訓「向学・協力・自律・奉仕」

第5号 令和5年7月20日

発行・文責：校長 竹崎 賢一

想定外のエアコン故障により、生徒のみなさんには本当に過酷な環境下での学習活動を強いることになってしまった1学期でした。さまざまに対応を試みながらでしたが、やはり快適な生活に慣れきってしまっている現代人は弱いな、そう感じたことでした。現段階では夏季休業中には修理が終了する予定です。楽しみにしておいてくださいというのも変な話ですが、本音です。

さて、明日から42日間の夏季休業に入ります。例年夏季休業中に痛ましい水難事故が発生します。本校から悲しい犠牲者を出さないためにも、保護者等による監視・監督のない水遊びは絶対にさせない、それくらいの強い思いで水難事故防止に努めてほしいものだと思います。中学生は自分たちで行動できるから、保護者の同行を嫌がるから、万が一のことが起きてしまえば、そんな言葉は何の意味ももちません。出校日に、2学期の始業式に、生徒たちの元気な姿を見たい、そのためにも家庭での徹底をお願いいたします。

## 【目安点】

中学校では毎年7月になると、3年生を対象に進路希望調査を実施します。生徒たちが初めて進路を現実の問題として意識し始めることになる調査です。

調査結果をみると、現段階では、ほとんどの生徒が上級学校進学を希望しているようで、それぞれが思い描く進路選択が実現できるよう、3年部を中心に指導の充実に一層努めていきたいと考えています。

上級学校への進学ということを考えるとき、避けて通ることができないのが入学者選抜学力検査、いわゆる「入試」です。この入試である程度の点数をとることが合格の条件になってきます。

今回話題にしたいのは、鹿児島県の公立高校入試の中にある「目安点」と呼ばれるものです。保護者のみなさまには耳慣れない言葉だと思いますが、この「目安点」とは、入試問題の中に含まれる基礎的内容の設問の合計点であり、国語・社会・数学・理科においては、小学校教材及びその関連教材の内容を含んでいます。各教科おおよそ2割程度とされています。公立高校の入試は各教科90点満点で実施されるので、目安点の割合は18点程度ということになります。決して少ない数字ではありません。

一方で、小学校の学習内容及び中学校段階での基礎的な内容が分かっているならば、少なくとも18点の5教科分、90点(450満点中)はとれるという計算になります。中学校の内容を全て理解するのは難しくても、小学校で学習した内容程度ならいくらなんでも、さすがに十分に理解できている、そう信じたいところです。

では、基礎的な問題とはどのようなものなのか、実際例を見てみましょう。令和4年度の国語の「書き取り」では「こなぐすり(粉薬)、さばく(裁く)、こうみやく(鉦脈)」といった問題が出されました。いずれも小学校の学習内容からの出題です。次に数学の問題です。「 $4 \times 8 - 5$  (27)」、 $1/2 + 7/9 \div 7/3$  (5/6) これ

も同じく小学校で学習した内容が理解できていれば正解できる問題です。保護者のみなさま、いかがでしょうか。我が子は小学校の学習内容の問題を当たり前のように正解することができるでしょうか。

昨年度の県全体での誤答率(正解できなかった割合)をみてみると、こなぐすり(8.7%)、さばく(13.7%)、こうみやく(36.7%)、 $4 \times 8 - 5$ (3.2%)、 $1/2 + 7/9 \div 7/3$ (5.0%)でした。「鉦脈」については、誤答率が36.7%ですから、県下の受検生の実に3分の1強が正解できていなかったということになります。その他の問題を見ても、案外小学校の学習内容の問題が正解できていないということがわかります。

小学校内容の問題で点数を確実にとることができなければ、さらに難易度が上がる中学校学習内容において点数をとれるはずもなく、自分が目標とする高校の点数に届くはずありません。理科、社会、英語についても、同様のことが言えます。

小学校の内容から出題されるから簡単で点数もとれるしラッキーだ、その程度の認識で甘く考えていると足元をすくわれることも十分にあり得ます。

「屋上に屋を架す」「石橋をたたいて渡る」ムダなことをしている例えとしてよく用いられることばです。小学校の学習内容を復習するということは、ムダなことをしているように感じられるのかもしれませんが決してそんなことはないというのは、今回の文を読んでもらえばよく分かるはずです。理解しているはずと思っても、意外に忘れてしまっているのです。本当に小学校内容の問題ができるのか、確認するのはとても意味のあることです。

そう考えると、1ヶ月半の夏季休業というのは決して長くはなく、むしろ短すぎるくらいであるということも十分理解してもらえたいと思います。

ムダなことをしているようでも、何度も何度も基本を繰り返す、そんな人が結果的に勝つのが受験です。これは受験に限らず全てのことに通じます。3年生のみならず、2年生や1年生のみなさんも、もちろん同じことが言えます。基礎を大切に。